



平成 21 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 7 月 11 日

上場会社名 カップ・クリエイト株式会社 上場取引所 東証第 1 部
 コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 徳山 桂一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 中井 鉄太郎 TEL (048) 650-5100

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 20 年 5 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年2月期第1四半期	18,765	12.5	1,574	46.3	1,628	53.2	785	29.0
20年2月期第1四半期	16,682	6.1	1,076	370.6	1,063	285.7	609	△ 49.7
20年2月期	50,085		2,483		2,526		1,316	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
21年2月期第1四半期	33	73	31	19
20年2月期第1四半期	26	29	24	30
20年2月期	56	75	52	46

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年2月期第1四半期	56,442		28,046		49.7	1,204	15	
20年2月期第1四半期	55,112		26,790		48.6	1,155	82	
20年2月期	53,667		27,725		51.7	1,190	36	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
21年2月期第1四半期	3,399		△ 6,438		167		6,912	
20年2月期第1四半期	1,942		△ 401		△ 1,449		11,141	
20年2月期	3,834		△ 1,516		△ 3,585		9,784	

2. 平成 21 年 2 月期の連結業績予想 (平成 20 年 3 月 1 日 ~ 平成 21 年 2 月 28 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	37,600	—	2,610	—	2,670	—	1,230	—	52	80
通期	75,200	—	3,930	—	3,990	—	1,800	—	77	28

(注) 当社は、決算期を 5 月 31 日から 2 月末日に変更いたしました。なお、平成 20 年 2 月期は、平成 19 年 6 月 1 日から平成 20 年 2 月 29 日の 9 ヶ月の変則決算となるため、通期の対前期増減率および中間期の対前年中間期増減率は記載しておりません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

(参考) 個別業績の概要

(百万円未満切捨て)

1. 平成 21 年 2 月期第 1 四半期の個別業績（平成 20 年 3 月 1 日 ～ 平成 20 年 5 月 31 日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21 年 2 月期第 1 四半期	18,765	12.5	1,572	46.9	1,634	55.2	794	32.3
20 年 2 月期第 1 四半期	16,682	8.9	1,070	146.1	1,053	167.4	600	—
20 年 2 月期	50,085		2,466		2,476		1,234	

	1 株当たり四半期（当期）純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期（当期）純利益	
	円	銭	円	銭
21 年 2 月期第 1 四半期	34	10	31	53
20 年 2 月期第 1 四半期	25	92	23	96
20 年 2 月期	53	19	49	17

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21 年 2 月期第 1 四半期	56,466	28,071	49.7	1,205 22
20 年 2 月期第 1 四半期	55,203	26,883	48.7	1,159 84
20 年 2 月期	53,678	27,741	51.7	1,191 06

2. 平成 21 年 2 月期の個別業績予想（平成 20 年 3 月 1 日 ～ 平成 21 年 2 月 28 日） 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	37,600 —	2,600 —	2,650 —	1,210 —	51 95
通期	75,200 —	3,910 —	3,950 —	1,700 —	72 99

(注) 当社は、決算期を 5 月 31 日から 2 月末日に変更いたしました。なお、平成 20 年 2 月期は、平成 19 年 6 月 1 日から平成 20 年 2 月 29 日の 9 ヶ月の変則決算となるため、通期の対前期増減率および中間期の対前年中間期増減率は記載していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における外食業界におきましては、大きな企業間競争の時代に入り、競合他社や他事業との競争の激化や原油価格高騰による外食機会の減少、さらには優秀な人材を確保するための諸費用の増加などにより依然厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社は、引き続き既存店売上高の通増を目指し、作業の標準化と経営の効率化に向けて日々改善改革に取り組んでまいりました。

業務全般におきましては、昨年12月に業務改善委員会を発足させ全社横断の業務改善を可能にさせました。これにより各現場での問題点の「見える化」を進め、これを関係する全ての部署が一体となり、短時間で改善するということを継続的に推進することが出来るようになりました。

店舗における重要課題といたしましては引き続き従業員教育と考え、教育店舗での現場研修や定期集合研修において店舗オペレーションの標準化やサービスレベルの向上に注力し、店舗の総体的レベルの更なる向上に努めてまいりました。定期集合研修におきましては教育の裾野をパート従業員にまで広げ、更なる店舗営業レベルの向上に努めてまいりました。また、お客様満足を得るためには従業員の満足が必要と考え、従業員の公正な評価を行なうために業績評価を導入し社員の士気の高揚に努めてまいりました。

商品、仕入につきましては原油価格の高騰による先行き不透明な状況の中、食材の加工方法の改善を行い食材のロスを最小限に抑えることにより原価率の上昇回避に努めてまいりました。

昨今重要視されてきました食の安心安全につきましては、当社に設けられております品質管理室での検査の強化と新たな仕入加工ルートの開拓に努めてまいりました。

新規出店におきましては、未出店地域への積極的な出店を行い売上高の向上及び知名度のアップに努めてまいりました。既存店については、特急レーン・タッチパネルの標準化の実施により、お客様に満足していただきながら、既存店売上高の増加に努めてまいりました。ランチ90キャンペーンにおきましては、CMやチラシ宣伝の継続実施が効果を発揮し続けており、ご来店お客様数の増加に貢献しております。また年間を通して季節感に沿った商品キャンペーンの実施もお客様から高い評価を得られ、主としてご来店お客様数の増加による売上高の拡大につなげる事が出来ました。

当第1四半期における当社グループの新規出店16店舗、閉店8店舗を行った結果、当第1四半期末の店舗数は310店舗となりました。

この結果、当第1四半期における業績は、売上高187億65百万円（前年同期間比12.5%増）となりました。利益に関しては、経常利益16億28百万円（同53.2%増）、四半期純利益7億85百万円（同29.0%増）となりました。

(注) 当社グループは、寿司事業以外に事業の種類別セグメントがないため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末における総資産は、564億42百万円となり、前期末に比べ27億74百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が9億89百万円、流動資産その他が33億36百万円増加、現金及び預金が18億73百万円減少したことによるものであります。

負債の部は、283億95百万円となり、前期末に比べ24億53百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が3億17百万円、流動負債その他が16億53百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、280億46百万円となり、前期末に比べ3億21百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金3億19百万円の増加によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが33億99百万円増加、投資活動によるキャッシュ・フローが64億38百万円減少、財務活動によるキャッシュ・フローが1億67百万円増加した結果、前期末より28億71百万円減少し、69億12百万円（前期末は97億84百万円）となりました。

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

営業活動の結果得られた資金は、33億99百万円（前年同四半期末は19億42百万円）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益14億57百万円、減価償却費4億92百万円、仕入債務の増加額3億17百万円、その他16億8百万円を計上したこと等によるものであります。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

投資活動の結果使用した資金は、64億38百万円（前年同四半期末は4億1百万円）となりました。これは、定期預金の預入10億1百万円、有価証券の取得30億3百万円、有形固定資産の取得20億29百万円等によるものであります。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

財務活動の結果得られた資金は、1億67百万円（前年同四半期末は14億49百万円の減少）となりました。これは、長期借入金による収入15億円、長期借入金の返済による支出9億85百万円、配当金の支払3億46百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

中間期及び通期の業績につきましては、最近の業績の動向を踏まえ、上記のとおり修正しております。なお、上記予想に関する事項は、本日（平成20年7月11日）公表の「平成21年2月期中間期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金計上基準等について、一部簡便的な手続きを用いております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

将来の株主優待券の利用による費用の発生に備えるため、株主優待券の利用実績率に基づいて、翌期以降に発生すると見込まれる額を計上しております。

株主優待費用は、従来、優待券利用時に販売費及び一般管理費として処理をしておりましたが、株主数の増加に伴い株主優待券の発行数が増加したこと、及び、利用実績率の把握が可能となったことから、当事業年度末より、翌期以降に発生すると見込まれる株主優待費用の額を株主優待引当金として計上することと致しました。

この結果、従来の方法によった場合と比較して、販売費及び一般管理費が 62,000 千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が同額減少しております。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末 〔平成 20 年 2 月期〕 第 1 四半期末		当四半期末 〔平成 21 年 2 月期〕 第 1 四半期末		増 減		(参考) 前期末 (平成 20 年 2 月期末)
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額
(資産の部)							
I 流動資産							
1. 現金及び預金	17,166		12,937		△4,229	△24.6	14,810
2. たな卸資産	689		661		△28	△4.1	647
3. その他	5,313		9,226		3,912	73.6	5,889
流動資産合計	23,170	42.0	22,824	40.4	△345	△1.5	21,347
II 固定資産							
1. 有形固定資産	19,809		21,871		2,062	10.4	20,882
2. 無形固定資産	219		213		△5	△2.6	216
3. 投資その他の資産	11,912		11,531		△380	△3.2	11,221
固定資産合計	31,941	58.0	33,617	59.6	1,675	5.3	32,319
資産合計	55,112	100.0	56,442	100.0	1,330	2.4	53,667
(負債の部)							
I 流動負債							
1. 買掛金	2,408		2,334		△73	△3.1	2,016
2. 一年内返済予定長期借入金	4,137		3,615		△521	△12.6	3,475
3. その他	3,368		5,299		1,930	57.3	3,646
流動負債合計	9,914	18.0	11,249	19.9	1,335	13.5	9,139
II 固定負債							
1. 新株予約権付社債	10,000		10,000		-	-	10,000
2. 長期借入金	7,507		6,259		△1,248	△16.6	5,884
3. その他	900		886		△13	△1.5	918
固定負債合計	18,407	33.4	17,146	30.4	△1,261	△6.9	16,803
負債合計	28,322	51.4	28,395	50.3	73	0.3	25,942
(純資産の部)							
I 株主資本							
1. 資本金	9,429		9,545		115	1.2	9,545
2. 資本剰余金	8,444		8,560		115	1.4	8,560
3. 利益剰余金	8,962		9,992		1,029	11.5	9,672
4. 自己株式	△53		△53		△0	△0.1	△53
株主資本合計	26,783	48.6	28,044	49.7	1,261	4.7	27,725
II 評価・換算差額等							
1. その他有価証券評価差額金	6		1		△4	△71.5	0
評価・換算差額等合計	6	0.0	1	0.0	△4	△71.5	0
純資産合計	26,790	48.6	28,046	49.7	1,256	4.7	27,725
負債・純資産合計	55,112	100.0	56,442	100.0	1,330	2.4	53,667

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成20年2月期 第1四半期〕		当四半期 〔平成21年2月期 第1四半期〕		増 減		(参考) 前期 (平成20年 2月期)
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額
I 売上高	16,682	100.0	18,765	100.0	2,082	12.5	50,085
II 売上原価	6,389	38.3	7,062	37.6	672	10.5	19,366
売上総利益	10,292	61.7	11,703	62.4	1,410	13.7	30,718
III 販売費及び 一般管理費	9,216	55.2	10,129	54.0	912	9.9	28,235
営業利益	1,076	6.5	1,574	8.4	498	46.3	2,483
IV 営業外収益	54	0.3	139	0.7	84	155.0	261
V 営業外費用	67	0.4	85	0.4	17	26.5	218
経常利益	1,063	6.4	1,628	8.7	565	53.2	2,526
VI 特別利益	1	0.0	1	0.0	0	△30.3	324
VII 特別損失	10	0.1	172	0.9	161	—	466
税金等調整前 四半期(当期) 純利益	1,054	6.3	1,457	7.8	402	38.2	2,384
税金費用	445	2.7	671	3.6	226	50.9	1,067
四半期(当期) 純利益	609	3.6	785	4.2	176	29.0	1,316

(3) (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期連結会計期間(自平成20年3月1日至平成20年5月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成20年2月29日 残高	9,545	8,560	9,672	△53	27,725
第1四半期連結会計期間中の 変動額					
剰余金の配当			△465		△465
自己株式の取得				△0	△0
四半期純利益			785		785
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)					
第1四半期連結会計期間中の 変動額合計(百万円)			319	△0	319
平成20年5月31日 残高	9,545	8,560	9,992	△53	28,044

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成20年2月29日 残高	0	0	27,725
第1四半期連結会計期間中の 変動額			
剰余金の配当			△465
自己株式の取得			△0
四半期純利益			785
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	1	1	1
第1四半期連結会計期間中の 変動額合計(百万円)	1	1	321
平成20年5月31日 残高	1	1	28,046

(4) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成 20 年 2 月期 第 1 四半期〕	当四半期 〔平成 21 年 2 月期 第 1 四半期〕	(参考) 前期 (平成 20 年 2 月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,054	1,457	2,384
減価償却費	447	492	1,466
固定資産除却損	0	9	40
減損損失	—	163	405
たな卸資産の減少・増加(△)額	△88	△13	△46
仕入債務の増加・減少(△)額	439	317	48
その他	228	1,608	△440
小 計	2,083	4,033	3,858
法人税等の支払額	△99	△546	114
その他	△41	△87	△138
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,942	3,399	3,834
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
定期性預金の預入による支出	△21	△1,001	△22
有価証券の取得による支出	—	△3,003	△1,000
有形固定資産の取得による支出	△594	△2,029	△2,828
投資有価証券取得による支出	—	—	1,351
短期貸付金の回収による収入	200	—	200
敷金及び差入保証金の預託による支出	△138	△429	△609
敷金及び差入保証金の回収による収入	129	34	396
長期前払費用の支出	△19	△127	△109
その他	43	117	1,105
投資活動によるキャッシュ・フロー	△401	△6,438	△1,516
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
長期借入れによる収入	—	1,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,187	△985	△3,471
新株発行による収入	—	—	231
配当金の支払額	△262	△346	△345
その他	—	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,449	167	△3,585
IV 現金及び現金同等物の増加額又は減少額	90	△2,871	△1,267
V 現金及び現金同等物の期首残高	11,051	9,784	11,051
VI 現金及び現金同等物の期末残高	11,141	6,912	9,784

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当社グループは、寿司事業以外に事業の種類別セグメントがないため、該当事項はありません。

② 所在地別セグメント情報

第1四半期連結会計期間中において本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

第1四半期連結会計期間中において海外売上高がないため、該当事項はありません。